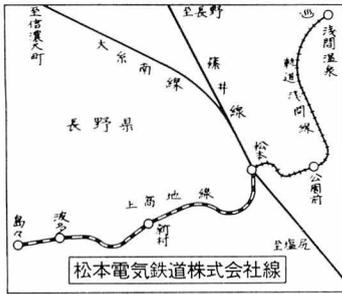


まつもとでんきてつどう 松本電気鉄道

1 事業者の概要

名称 松本電気鉄道株式会社, 本社 長野県松本市大字筑摩, 資本金 9,600 万円, おもな事業 地方鉄道・軌道業のほか一般乗合旅客自動車運送事業路線 796 km, 一般貸切旅客自動車運送事業および旅館業。鉄・軌道従業員 175 人, 保有車両 電動客車 13, 客車 1, 貨車 15 両。



沿革 大正 8・7 松本市から東筑摩郡波田村字前淵に至る鉄道敷設を計画, 大正 9・3 資本金 100 万円の筑摩鉄道株式会社として発足した。その後大正 13 年松本市・浅間温泉間に軌道を敷設, 昭和 7・11 現在の社名に変更した。

2 地方鉄道線 長野県下の篠ノ井線松本駅に連絡し, 松本から島々までの延長 15.7 km の旅客および貨物運輸の鉄道で単線, 動力は電気, 軌間は 1.067 m で, 大正 8・12・5 免許を受け, 同 10・10・2 松本・新村間を運輸開始, 同 11・9・26 島々まで延長全線開通した。

3 軌道線 松本駅に連絡し, 松本から浅間温泉まで延長 5.3 km の旅客運輸の軌道で単線, 動力は電気, 軌間は 1.067 m, 大正 11・3・9 特許を受け同 13・4・19 運輸開始した。

4 沿線の観光地 松本城(国宝), 中部山岳国立公園(松本駅), 浅間温泉(浅間温泉駅)。

5 運輸概況

(1) 地方鉄道線

項目	年 度		
	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	2,082	2,095	2,177
人キロ(千)	16,037	16,293	16,801
貨物輸送トン数(千t)	32	28	36
トンキロ(千)	312	288	367
旅客収入(千円)	36,537	37,971	38,865
貨物収入(〃)	3,635	3,342	4,027
運輸雑収(〃)	605	498	490
収入合計(〃)	40,777	41,811	43,382
営業費(〃)	39,859	40,885	42,440
営業利益(〃)	918	926	942
営業係数(%)	97	98	94

(2) 軌道線

項目	年 度		
	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	2,570	2,731	2,881
人キロ(千)	9,769	10,105	10,502
旅客収入(千円)	23,556	24,760	25,635
運輸雑収(〃)	319	327	284
収入合計(〃)	23,874	25,088	25,919
営業費(〃)	22,041	23,398	24,460
営業利益(〃)	1,833	1,690	1,459
営業係数(%)	92	93	91

(志村幹雄)

まど 窓(客車・電車および気動車) (英) window (独) Fenster 客車・電車および気動車の窓は室内の採光・換気などのた

めに設けられているもので, その構造および窓を設ける場所によって 1 段窓, 2 段窓, 3 段窓, 下降式窓, 上昇式窓, 戸袋窓などがある。

木製車および地方鉄道の電車の一部には下降式ガラス戸の窓が用いられているが, 大部分の鋼製車では車体強度上からと, 下降式にすると, 腰羽目に雨水が入り羽目板を腐しよくさせるおそれがあるため, 上昇式ガラス戸の窓を採用している。

客車の窓は 1 枚のガラス戸を備えた, 1 段窓が採用されているが, 電車および気動車では窓の高さを大きくするため, 上部ガラス戸を固定し, 下部ガラス戸を上昇させる構造の 2 段窓が多く採用されている。なお 2 段窓のうちでも上部の通風をはかるために, とくに上部のガラス戸を上昇できるもの, あるいは下降できる構造のものもある。またとくに混雑のはげしい通勤電車などには, 上中下の 3 段のガラス戸を設けた, いわゆる 3 段窓を採用したものもある。この窓はそれぞれのガラス戸を個々に開閉することができ, 腰掛けしている乗客にも, 立っている乗客にも通風をはかることができる特長を有している。上部下降式窓は 2 段窓の 1 種で, 上部のガラス戸を下降できる構造のもので, 地下鉄などのように窓から頭や手を出すことが危険な車に採用されている。

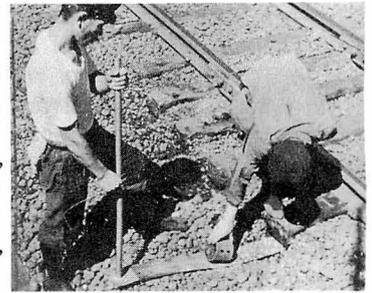
窓の構造は窓ガラス戸のほかに, 日よけのため巻上げカーテンあるいはよろい戸を設け, とくに客車では外からのほこり, シンダなどの入るのを防ぐため, 網戸を備えたものもある。またとくに空調装置を実施している車や寒冷地の車では, 窓からの熱の侵入あるいは放散を防ぐため, 2 重のガラス戸を使用している。

ガラス戸には窓戸錠を取付け, 柱に取付けてある窓戸止棒に設けたみぞで止める構造としてある。カーテンを取付けた窓では窓戸止棒にならべて適当な切欠きを設けたみぞ島を取付け, これをカーテンの横棒の案内とするとともにカーテンを止める構造としてある。

幅の広い(主として 1m 以上)窓ではガラス戸の重量が重くなるため, 窓上部の柱内に窓戸つり上げばねを取付け, この張力を利用してガラス戸の開閉を容易に行えるようにしている(図, 次ページ)。(林 正造)

まめさいせきしきこみ 豆碎石敷込み 軌道高低整正(むら直し), 軌道こう上において, ビータ, タイタンパなどで砂利を枕

木下につき込むわりに, 精選された豆碎石(径 5~15 mm)をこう上量に応じて計算し, これを特殊ショベルで枕木下に敷き込む方法で, 一名ショベルバックともいう。これには, 枕木間の砂利をかき出し, 枕木の側面方から敷き込む方法と, 枕木端の砂利をかき出し, 枕木小口方から敷き込む方法との 2 つがある。これらはショベルの形式が異なり, 前者に使用するものを横ショベル, 後者に使用するものを縦ショベルということから, 前者の方法を横ショベルによる敷込み, 後者を縦ショベルによる敷込みといわれている。つき固め法にくらべて労力が軽減されるので, 一時非常に推奨された。



1. 横ショベルによる敷込

作業方法として, 横ショベルによるものに昭和 18・10 [豆碎